

安全情報

2011 年 10 月 14 日

非血縁者間骨髄採取認定施設

採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

抗凝固剤(ヘパリン)最終濃度について

このたび、移植施設から、採取された骨髄液総量中の抗凝固剤（ヘパリン）の最終濃度が非常に低かったとの報告がありました。

本事例については、幸い採取した骨髄液に凝固は認められませんでした。骨髄液が凝固する可能性が懸念されたので、再度抗凝固剤の適正使用に関する注意喚起の必要性があると判断し、再発防止の観点からご通知いたします。

< 今回の事例 >

- ・骨髄採取量 : 820 mL
- ・希釈液量（生理食塩水） : 110 mL
- ・骨髄液総量 : 930 mL
- ・ヘパリン使用量 : 1100 単位（生理食塩水 1mL 中にヘパリン 10 単位）
- ・最終濃度 : 1.18 単位/mL（骨髄液＋生理食塩水の総量中）

< 骨髄採取マニュアル（第四版）の記載（P5） >

（3）抗凝固剤

ヘパリンを使用する。

最終ヘパリン濃度は、通常 10 単位/mL 前後で用いることを推奨する。

< 原因 >

当該採取施設では、骨髄採取マニュアルの記載にある「最終ヘパリン濃度」を『骨髄液＋希釈液（総量中）』ではなく、『希釈液中』の濃度と理解していた。

< 再発防止 >

各施設におかれましては、抗凝固剤（ヘパリン）の適正使用について骨髄採取マニュアルの再確認をお願いいたします。なお、「最終ヘパリン濃度」とは、骨髄液総量に対するヘパリン濃度を示しており、希釈液中のヘパリン濃度を示すものではありません。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団

ドナー安全委員会 事務局

ドナーコーディネート部 橋下、折原

TEL 03-5280-2200

FAX 03-5283-5629